

あっという間に夏らしい季節になりました。関東地方はまだ梅雨入りしていませんが、しばらくは不安定なお天気が続くようです。

高い気温に体が慣れていない時期ですので、くれぐれも熱中症にお気を付けください。

3週間に一度、ミサに参加するというリズムにもようやく慣れてきましたが、他の地区の方と顔を合わせる機会があまりなく、寂しく思います。未だにミサに参加することが叶わない方に比べれば、ずっと恵まれているのに、人間は欲深いものです。イエス様のご復活され、弟子たちの前に現れた時、トマスに向かっておっしゃった、「見ないで信じる人は、幸いである」というみことばを思い起こしています。

同じ大宮教会の聖堂に、違う日曜日に集っている方々や、教会に行くことを自粛されている方々の顔を思い浮かべながら、毎日曜日ご聖体が頂けなくても、仲間に会うことができなくても、いつもどんなときにも聖霊を豊かに降り注いでくださる神様に感謝しながら、一日一日を大切に暮らしたいと思います。



<信徒委員会からのお知らせ>

・今後のミサについて

新型コロナウイルス感染症対策として引続き現在の3グループによるローテーションを継続いたします。



月	日	曜日		開始時間	グループ
6月	13日	(日)	年間第11主日	午前10:00～	A
	20日	(日)	年間第12主日	午前10:00～	B
	27日	(日)	年間第13主日	午前10:00～	C
7月	4日	(日)	年間第14主日	午前10:00～	A
	11日	(日)	年間第15主日	午前10:00～	B
	18日	(日)	年間第16主日	午前10:00～	C
	25日	(日)	年間第17主日	午前10:00～	A
8月	1日	(日)	年間第18主日	午前10:00～	B
	8日	(日)	年間第19主日	午前10:00～	C
	15日	(日)	聖母の被昇天	午前10:00～	A

*ご自分がどのグループに属するか、今一度ご確認ください。

Aグループ	大宮区・西区・中央区・桜区
Bグループ	見沼区・北区
Cグループ	岩槻区・伊奈・原市・白岡・蓮田・久喜

・主聖堂受付時間について

毎週日曜日と木曜日 午前 10 時～午後 2 時まで受付係がおります。

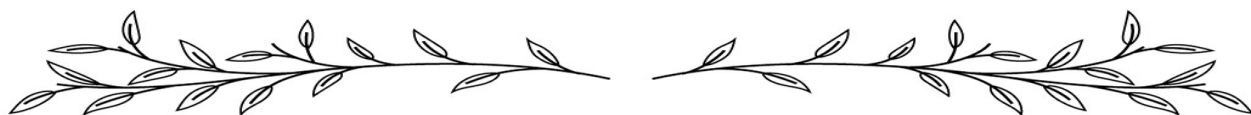
・営繕部より

いつも除草作業にご協力くださり、ありがとうございます。今年は教会一斉に除草作業日を設定することはしません。時間に余裕のある方は、ミサ前後に短時間でも各自除草をお願いいたします。鎌・軍手・ビニール袋等は小聖堂裏（左奥）の物置に用意してあるので、ご利用ください。刈った草はビニール袋に入れて、司祭館駐車場入り口付近に置いてくだされば営繕部が処分します。

（くれぐれも熱中症にご注意下さい）

・成人養成部より

インターネットの zoom（ズーム）を用いての勉強会を計画中です。詳細が決まり次第お知らせいたします。



じっちゃんの信仰

2 年前、横浜在住の従兄弟から小包が届きました。お互いに交流のない状態だったため、不審に思いながら開いてみると、立派な装丁の本が出てきました。

「横川茂一とその子供達」と題した祖父の伝道士時代の日記文や写真が載っていました。「子供達」というのは、長男である私の父と 3 人の弟たちのことです。

じっちゃんの生年月日を見て驚きました。明治 4 年（1871 年）2 月 1 日、幼児洗礼を受けています。キリシタン禁教令が解かれたのは 1873 年ということですので、幼児洗礼を授ける手立てをしたじっちゃんの両親は、潜伏キリシタンの信仰者と考えられました。

住所は長野県東筑摩郡新村 365 番地となっていましたので、コルダの会の福島さんに、「中山道と宿場とキリシタン 信濃大会」の紀要集をお借りして、集落を調べてみました。残念ながら冊子の中には、東筑摩群の法輪寺の住職が明治 4 年廃仏毀釈の時に買い受けたと伝えられている、としか書かれておりませんでした。

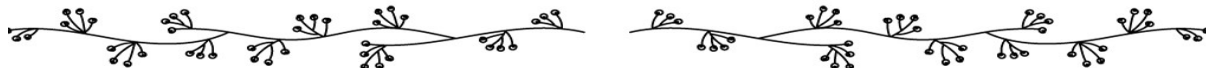
経歴の中では、「東京の暁星学園（後の暁星中学）にてフランス語を学んだ後、日本郵船でフランス語の通訳を務める、その後、北海道の函館亀田教会、小樽教会で伝道士を 25 年務める」と記されていました。

日記の一部「雪国の伝教」より

明治 39 年 12 月末、函館より 7 里離れた七飯村での葬式に、シャンボン閣下とファビエ神父様と私の 3 人が向かった。葬式は深々たる杉林の山腹、積雪尺餘の墓地で行われた。帰途は狭い馬櫓に御者、シャンボン閣下、ファビエ神父様、私、という順に乗り、駅に着いたが待合室には火の気がなく、神父様方には交通不便、寒気や粗食においとなく身を犠牲になされてご活動なさるのである。

昔の北海道は大変寒かったことが懐かしく思い出されます。

北区 大澤



♪ オルガニストのつぶやき ♪ ～ いっしょに弾きませんか ～

私は子どもの頃から大宮教会で美しい聖歌を聴きながら育ちました。御聖堂に響くオルガンの音色、それは建物、信徒の声と一体となりあたたかく大きな響きにふくらむのです。子どもながらにその音の世界に浸るのが大好きで、教会に行くのが楽しみでした。

高校生になってオルガン奉仕の機会をいただき、はじめのうちは、「私が御ミサで弾いていいのでしょうか？」と緊張感とプレッシャーで押しつぶされそうでした。

私以上に緊張していたのは母です。（笑）

ミサで弾く、典礼に関わるということは大変なことです、今では信者として喜びでもあります。“祈り”を大事に、これからも典礼音楽、オルガンに真摯に向き合っていきたいと思います。

オルガンを通して、神さまを讃え、喜びをもって奉仕してくださる方をお待ちしています。教会音楽の基本的技術、その他アドバイスをさせていただきます。お気持ちのある方、お気軽にお声がけください。

オルガニスト 高野 裕美



【総務部員を募集します】

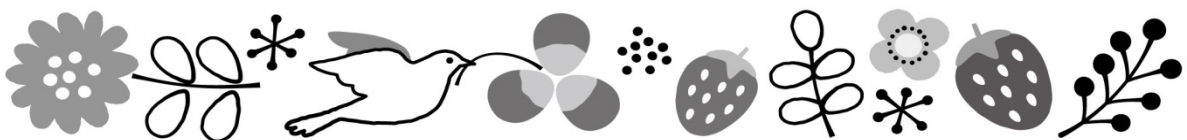
総務部員の奉仕内容は主に教会の受付です。

現在は 毎週木曜日と日曜日 午前10時～午後2時まで。

（平常時は火曜日～日曜日 午前10時から午後4時まで。午前10時～午後1時と午後1時から4時までの2交代制。）

現在11名で当番制で行っていますが、部員の負担軽減のため、増員したく、ご協力をお願いします。

ご興味のある方は酒井までお問合せ下さい。



*投稿を募集しております。FAXか郵送で受け付けております。

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350 カトリック大宮教会

おおみや教会通信係 ☎048-641-2935 FAX048-641-2724